

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	効果的な介護予防等の推進
------	--------------

現状と課題

高齢者等の個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を推進するため、地域ケア会議を充実することが求められていますが、「概ね満足のいく地域ケア会議となっている」と感じている市町村は2割程度にとどまっています。地域ケア会議の開催に際し、多職種の機関に参加を呼びかけて参加機関の拡大を目指している市町村が4割弱程度あり、その実現が課題となっています。また、効果的な介護予防の推進に向けて、「心身機能」「活動」「参加」の要素にバランスよく働きかけることが重要で、機能回復訓練などの高齢者本人へのアプローチだけではなく、地域の中に生きがい・役割を持って生活できるような居場所づくりと出番づくりなど、本人を取り巻く環境へのアプローチも必要です。このため、市町村が実施する介護予防事業への支援や住民主体での通いの場づくり（地域づくり）の普及・拡大の推進が必要です。

第7期における具体的な取組

- 1 要介護・要支援者等の自立支援や重度化防止に資する自立支援型地域ケア会議の実施を推進する。
- 2 地域包括支援センターの機能強化と人材育成を図るため、研修会や圏域別情報交換会の開催、情報の提供、助言等を行う。
- 3 高齢者の介護予防や健康寿命の延伸、住民相互の交流や見守りの場として、介護予防に資する住民運営の通いの場づくりの充実及び高齢者の参加拡大を促進する。
- 4 介護予防の機能強化を図るため、リハビリテーション専門職等を活用した自立支援型のケアマネジメントの普及等に取り組み、より効果的・効率的な介護予防の取組を市町村が推進できるよう支援する。

目標（事業内容、指標等）

- 1 自立支援型の地域ケア会議を開催する市町村数
18市町村(H29) → 39市町村(R2)
- 2 住民運営の通いの場の数
878箇所(H27) → 増加
- 3 地域づくりによる介護予防取組市町村数
18市町村(H29) → 39市町村(R2)

目標の評価方法

- 時点

- 中間見直しあり

- 実績評価のみ

- 評価の方法

- ・ 自立支援型の地域ケア会議を開催する市町村数、住民運営の通いの場の数、地域づくりによる介護予防取組市町村数について、市町村へアンケート調査を実施する。